

4 :

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	外陰癌	
	タイプ	臨床専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Characteristics of recurrence in patients who underwent lymphatic mapping for vulvar cancer	
	論文の日本語タイトル	リンパ流マッピングを施行した外陰癌患者における再発の特徴	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	PagetCQ7-4	
書誌情報	研究デザイン	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見（IV）	
	Pubmed ID	14751159	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Gynecol Oncol	
	雑誌 ID		
	巻	92	
	号	1	
	ページ	205-10	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 ( 1 )	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 ( 2 )	
	発行年月	2004	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Frumovitz, M.	Department of Gynecologic Oncology, The University of Texas MD Anderson Cancer Center
	その他著者 1	Ramirez, P. T.	
	その他著者 2	Tortolero-Luna, G.	
	その他著者 3	Malpica, A.	
	その他著者 4	Eifel, P.	
	その他著者 5	Burke, T. W.	
	その他著者 6	Levenback, C.	
	その他著者 7		
	その他著者 8		
その他著者 9			

	その他著者 10		
--	----------	--	--

一次研究の8項目	目的	センチネルリンパ節生検後再発した症例の詳細を検討する	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	Department of Gynecologic Oncology, The University of Texas MD Anderson Cancer Center	
	対象者	1993年から1999年までセンチネルリンパ節生検を行った外陰癌患者外陰癌患者52例	
	対象者情報(国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (2)	
	対象者情報(性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (2)	
	対象者情報(年齢)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (15)	
	介入(要因曝露)	介入なし	
	エンドポイント(アウトカム)	エンドポイント	区分
	1		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
	2		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
	3		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
	4		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
	5		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
	6		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
7		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
8		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
9		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
10		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
主な結果	52例中14例(27%)に再発を認めた。8例が原発巣に3例が鼠径リンパ節に、遠隔転移が3例であった。SCC9例中32例(22%),黒色腫7例中4例(57%)乳房外Paget病1例中1例に再発を認めた。SLN同定の有無、SLNおよびnon-SLNにおける転移の有無は再発率と相関しなかった。SLN陰性でnon-SLN陽性の例はなかった。鼠径リンパ節の再発3例はSLN non-SLNとも陰性1例、SLN non-SLNとも陽性1例、SLNが同定できずnon-SLN陰性が1例であった。		
結論	リンパ流マッピングをした場合も再発のパターンはしない場合と変わらなかった。センチネルリンパ節が陰性で鼠径領域に再発した例がみられた。このことはセンチネルリンパ節生検を外陰癌の標準治療に組み入れる際、十分な検討が必要であることを示している。		

	備考	
レビューワーコメント	レビューワー氏名	八田尚人
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ） 比較的多数例の解析である。3 例（ 6 % ）にリンパ節の再発がみられている。この報告ではセンチネルリンパ節の同定を色素法のみで行っており、手技的な問題も考えられる。